

建物の輝きと安全を守るプロ集団
 (みやぎ型オープンイノベーション推進支援事業)
株式会社オプス

事業概要

平成4年に仙台市宮城野区五輪に有限会社オプスを設立、平成8年に株式会社へ商号変更。建物総合管理会社として、ビルの外壁清掃をはじめ看板の撤去作業や排水管の修繕、空調の点検、クリーニングなど、建物の維持管理に関わる様々なサービスについて、仙台市周辺を主に手掛けています。

建物の維持管理に関して“他社がやらない・やれない・分からない作業”の「3ないチャレンジ」を掲げ、自社の得意分野にしていくことに果敢に挑み、技を磨き・ノウハウを蓄積してきていることもあって、県外からのオファーも増えてきています。

平成23年度には「新規触媒利用による防カビ技術の実用化開発」をテーマに、当機構の[宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業](#)（現在の「みやぎ中小企業チャレンジ応援基金事業」）を活用し、新規触媒・防カビ技術を確立、事業化に至りました。

令和元年度には、東北文化学園大学、宮城県産業技術総合センターの産学官連携によるプロジェクト創出研究会（以下「研究会」）を立ち上げ、[みやぎ型オープンイノベーション推進支援事業](#)を活用し、木材（ヒノキ）、塗料（水性塗料）、樹脂（ポリプロピレン）に対応した防カビ触媒のプレコート剤や施工方法を開発しています。施工後の防カビ試験でカビの繁殖が認められないことを目標に、従来の触媒では対応できなかった新しい用途への販路展開を目指しています。

また、「防カビ・抗菌」、「汚れ防止」、「消臭」の3つのラインナップを揃えた自然環境放射線反応型触媒アドバンスコートの販路拡大を目的に [営業活動強化支援事業補助金](#)を活用し、「新価値創造展 2019」に出展するなど、県外に向け積極的な営業活動を行っています。

企業の声

本年度はみやぎ型オープンイノベーション推進支援事業により、産学官連携で今まで自社だけでは出来なかった分析や施工方法の開発に取り組む、新しい販路開拓を目指しています。

また、展示会出展では営業活動強化支援補助金を使わせて頂いたことで、多くの企業と情報交換をする事が出来ました。

今後もみやぎ産業振興機構のいろいろな支援メニューを活用し発展して行きたいと思っております。

企業概要

代表者：代表取締役社長 菅原 俊樹
 住所：仙台市太白区鉤取1-1-31
 電話：022-398-7840
 E-mail：info@opus-gr.com
 URL：<http://www.opus-gr.com/>
 従業員：正社員30名（役員を含む）
 業種：サービス業
 主要事業：総合ビルメンテナンス



【新価値創造展 2019】

上：展示ブース 下：プレゼンテーション



社屋

[みやぎ型オープンイノベーション推進支援事業](#)は、国等の提案公募型技術開発資金活用に向けたテーマ発掘や研究体制の構築などをはじめとして、申請に係る支援から新技術・新商品開発・実用化等に至るまで、総合的なコーディネート支援を行う事業です。